

「明治期等古写真」の調査と目録編成および写真の概要について

—古写真の保存と研究に向けて—

岩 下 哲 典

はじめに

近年、古写真に関心が集まっている^①。

画像史料に関して美術史的に言えば、古代の仏教絵画、中世の水墨画、近世の障壁画、肉筆浮世絵、錦絵、洋風油絵、そして近代絵画の次に幕末明治の古写真が一般に関心呼び起こしているのである。特に古写真は、古文書などの文字情報に比べ読み取りが容易であることや、文字情報よりも画像情報のほうが多くの歴史的情報を得ることができる^②ことがその要因として考えられる。

最近注目されている研究や書籍を上げるならば、例えば上野彦馬^③やその弟子富重利平^④、下岡蓮杖の研究に加え、最古の営業写真師鶴飼玉川^⑤が注目を集めた。また、営業写真師の前段階として写真大名では島津斉彬や黒田斉溥や、近年では徳川慶勝^⑥などの研究がある。また、明治天皇の関係写真も解明が進んでいる^⑦。もちろん、そうした研究もたいへん重要であるが、市井には、無名の市民が撮影された古写真が多数流通しており、化学的に脆弱な、それらの古写真は消滅の危機にもさらされている。

たまたま、岩下は古書籍商の販売目録にあった「明治古写真」⁽⁸⁾ 120点を購入したので、文学部2年生川島丈尚君とともに、その調査を行い、目録を編成した。さらに保存対策や研究に向けて考察し、本稿を作成した。最後のほうに目録を附した。

なお、本稿成稿に関して述べておく。まず、岩下が、古写真で卒論を書きたいと話していた川島君に声をかけ、2人で「明治古写真」の調査を行った。その上で、川島君が目録作成および編成を行い、岩下が、その目録と現物とをつき合せながら、すべてを点検した。その上で本稿全体を岩下が作成し、川島君にも確認してもらい、成稿とした。したがって、本稿の著者は、岩下ひとりの名前になっているが、川島君との共同作業のもとに成稿したものである。川島君の献身的な努力を多としたい。

1. 調査と目録編成

本来であれば、「明治古写真」120点を、古書籍商から購入したそのままの状態・順番で1点ごとの調査を開始すべきであるが、見たところ、書き込みや写真館の台紙等のある写真、すなわち手掛かりのある写真が比較的少ないこともあったので、手始めに手掛かりのある写真から調査を行うことにした。そのため、目録編成も手掛かりのある写真が先に来て、あまり手がかりのないものが後にくる構成とした。

調査は2016年6月から10月まで、のべ7日ほど行った。調査では、名称、法量（寸法）、材質、年代、写真師・写真館、裏面データ、備考の項目ごとに行い、目録も同様にした。

名称は、できるだけ撮影された画像が想像できるようなタイトルを付した。補足が必要な場合は（ ）内に記した。

裏面に記されたタイトルを採用した場合もある。その場合も特に区別はしなかった。

法量は、上段に台紙の寸法、下段に本紙の寸法を書いた。

材質は、写真本紙の材質を記入した。鶏卵紙はK、ゼラチンペーパーはGと略記した。

年代は、裏面に記された年号や月日をそのまま採用した。調査者が推定した場合は、()内に記入した。

写真師・写真館は、台紙の表や裏に刻印されたり、印刷された文字を参考に記入した。

裏面データは、台紙裏面に毛筆や万年筆等で記載された文字を忠実に翻字した。なお、記載の順序が不明なものは、まとまり毎に「」を施した。

備考は、上記以外で、気が付いたことや参考のために記入したほうが良いと思われるデータを記入した。

2. 保存対策

現状では、古書籍商から送られてきたままの箱の中に入っている。本来ならば1点ごとに中性紙の封筒に入れ、適当な数量ごとに中性紙のストレッジ・ボックス（ミュージアム・ボックス、文書箱等）に収納し、温湿度が一定の保管庫に入れて保存するのが理想だが、財政的・環境的な問題からそのようにはしていない。研究が終われば、しかるべき史料保存機関（博物館、資料館、文書館、美術館、図書館等）に寄贈するのも、史料の散逸・消滅を防ぐためにはよいと思う。何度も述べてきたように、古写真は化学的に脆弱な史料なので、画像が失われる前に保存対策をたてるべきであろう。

また、このようなハード面の対策とともに、ソフト面すなわちデジタルデータ（写真）として保存して置くこともす

こぶる有効である。「明治古写真」は写真のデジタルデータとしても保存する予定でいる。画像をどのように公開するかは、検討中である。今後の課題と思う。

3. 「明治古写真」研究に向けて

調査を行うなかで、気の付いたことなど書いておく。

被写体は、人物肖像、家族、集合写真、人物スナップ、建物・名所、例えば日光や奈良、水戸、京都など、また風景、異国文物などもある。

年代が明記された古写真で最も古い写真は、明治23年の写真であり、新しいのは、昭和4年春のものである。明治23年は、「親子写真」で、裏面に「泰助 十九歳 惣左衛門 五十九歳 明治廿三年四月吉日」とあって、59歳の父と19歳の息子が明治23年の4月に写真館で撮影したものと思われる。昭和4年は、「墓所に向かう人々」の写真で、裏面に「高山林太郎 仁田た以 昭和四年春 塚本歌子 仙台青葉城跡より 政宗公墓所に至る途中」とあって、仙台市内の青葉城から伊達正宗の墓所（瑞鳳殿）に至る途中で撮影した写真である。年代のわかるものは、明治期が多い。しかし、昭和期のものも含まれるので、これ以後は、「明治期等古写真」と呼ぶこととする。

写真師・写真館は、東京のみならず全国各地にわたっている。住所等までわかるものもあり、興味深い。以下に目録掲出順に掲載する。なお、できるだけ写真に記載された通りに表記するが、意味がわかる順序で記したものもある。

渡邊寫 東京神田表神保町 T. watanabe
東京淺草公園 福田亮正製 SMFUKUDA
鶴淵 東京淺草並木街 H. TURUBUCHI. namicho asakusa tokyo
北條六軒町道 B. Asai 浅井寫真館
大日本東京 丸木利陽 R. maruki.
T. ogawa. YOKOHAMA
小野製 羽前新庄 K. ONO shinjo. uzen.
淺草公園 watanabe 渡邊
写真師佐々木 川越久保町 前橋横山町
勉強堂 村松東洋製大日本東京上野停車場前
照井泰四郎謹寫 山形市七日町
甲府市 紅梅町 寫真師廣瀬製
陸中盛岡 タカハシ
T. MIYAUCHI. otsuka. koishikawa-ku. tokyo 宮内寫真館
東京市神田区三崎町三丁目 大川孝 謹寫
仲之町早取寫真師加藤
東京池の端仲町通本郷湯島天神町三丁目 寫真師 徳力製
東京市麹町区富士見町壹丁目廿九番地塚本楊東支店市川根元世田谷電話番町七百四拾三番

- S. Ouchi 大内謹寫 東京本郷区田町
 ryusuitkan 柳水館 東京柳橋角
 M. shinose 東京小石川 潮瀬謹寫
 Umabuchi 東京浅草公園六区馬淵製
 Fujita 北越長岡藤田 NAGAOKA, HOKUYETSU.
 nankeikaku odomari kabafuto 楠溪閣
 studio photographer T. takebayashi 武林寫真館 北海道札幌出張 東京麹町区一番町 電話番号 三拾七番
 50484 (写真番号) THIS BASE PAPER IS MADE BY KOYODO
 名古屋市浪越公園中村透撮影 T. nakamura NAGOYA
 REIJI YESAKI. INSTANTANEOUS PHOTOGRAPHER ASAKUSA-PARK TOKYO, JAPAN. 大日本東京浅草
 公園地早取寫真師 江崎禮二製
 寫真師照井泰四郎羽前山形七日町 PHOTOGRAPHER T. TERUI. nanokamachi, yamagata, uzen.
 NAGOYA ㊟ JAPAN 名古屋中央写真館 K SAKAI
 青山三郎 NAGOYA-KOYEN S. AOYAMA 愛知名古屋公園
 名古屋下常盤町 岩田虎雄 T. iwata TOKIWA CHO NAGOYA AICHI
 浅草御蔵前 寫真師松本製
 K. masuhara 東京赤坂溜池 増原製
 東京錦華堂松村寫真廬 S. AOYAMA 青山 名古屋大須公園

s. morikane 兩國廣小路 森金謹寫

谷崎寫真館 東京中渋谷

田村鐵三郎 福嶋縣 福嶋町公園 T. tamura. photographer koyenchi fukushima-cho fukushima ken JAPAN

photographer HIRANO MONZEN RAKUHOKU KIOTO 京都洛北平野門前攝影師小柴垣 田中謹寫

東京が21件と圧倒的に多く、そのほか千葉県館山や山形県新庄、群馬県前橋、山梨県甲府、岩手県盛岡、新潟県長岡、愛知県名古屋、福島県、京都など全国にわたっている。主に関東、東北、北陸、中部であり、京都より西の地域はない。東京に次ぐのは、名古屋で、3件である。なお、東京では丸木利陽⁽⁹⁾、江崎礼二⁽¹⁰⁾など有名写真師のものもある。

また、名前のみのものは、「利根川」⁽⁹⁾、「K. SAKAI」などである。

以上により「明治期等古写真」は明治期から昭和期にかけての人物・風景を撮影した写真で、東京のみならず、地方の写真師や写真館で撮影・現像されたものもあり、庶民生活の一コマや日光など歴史的建造物等の撮影当時の様子が判明するもので、貴重な歴史的情報の資源であると思料される。今後「明治期等古写真」のさらなる研究を行いたいと思う。

おわりに

古写真は、実に多くの歴史的情報が写り込んでいる史料である。したがって古写真からは、たいへん多くの歴史的情報を読み取ることが可能である⁽¹⁾。ただし、調査した我々2人だけでは、それが持つ豊かな情報を十分にくみ取ることが

難しい。故に多くの人の目に触れることで、さらなる歴史的情報の読み取りが可能となり、豊かな歴史を思い描くことが可能となると思われる。本稿では、その前段階としての調査研究・保存対策に関して言及した。本稿が、調査研究から保存対策、さらには古写真からの歴史的情報の読み取りの一助になれば幸いである。以下に、「明治期等古写真」の閲覧アクセス情報を記して、筆を擱くことにする。

「明治期等古写真」の現物を閲覧希望する方へ

希望する方は、東洋大学白山キャンパス文学部史学科共同研究室気付岩下まで文書（郵便か電子メール）でお申し込みください。文書には、住所（郵便番号）・氏名（ふりがな）・所属（勤務先、学会など）・連絡先（携帯電話・メールアドレス）を明記し、閲覧希望日（複数）、閲覧希望写真番号（附録の目録の番号）、写真名称を記入してください。折り返しご連絡いたします。なお、業務繁多の場合、別の日程をお願いする場合もあることをあらかじめご了承ください。電子メールアドレスは以下の通り。iwashita@toyojp

注

- (1) 山川出版社が刊行した「レンズが撮らえたシリーズ」は、同社のHPで確認すると、二〇一一年の岩下哲典・塚越俊志編『幕末の日本』から始まって二〇一五年の小沢健志監修・高橋則英編『日本人カメラマンの見た幕末明治』まで、一五のページョンが出版されている。本稿でも同シリーズを参照した。また、高橋信一『フェリスブック版 古写真研究こぼれ話 真実を求めて』一、渡辺出版、二〇一四、同『同』二、同、二〇一五年、同『同』三、同、二〇一六年、岡塚章子・我妻直美『浮世絵から写真へ 視覚の文明開化』青幻舎、二〇一五年も参照。さらに白山眞理・櫻井由理編『秘蔵写真 伝えたかった中国・華北』二〇一六年も興味深い展示図録である。

- (2) 馬場章『上野彦馬歴史写真集成』渡辺出版、二〇〇六年
- (3) 熊本学園大学付属産業経営研究所編・刊『シンポジウム富重写真所 温故創新 歴史価値の継承と未来価値の創造』二〇一四年
- (4) 東京都写真美術館監修『下岡蓮杖：日本写真の開拓者 (Shimooka Renjo: A Pioneer of Japanese Photography)』二〇一四年
- (5) 斎藤多喜夫『幕末明治 横浜写真館物語』吉川弘文館、二〇〇四年
- (6) 慶勝の写真研究に関しては、以下のような研究史がある。岩下哲典「徳川慶勝の写真研究と撮影写真(上)」『徳川林政史研究所研究紀要』第二五号、一九九一年、同「同(下)」『同』第二六号、一九九二年、同「尾張徳川家の江戸屋敷・東京邸とその写真」『同』第二八号、一九九四年、宮地正人監修、岩下哲典・斉藤洋一執筆「将軍・殿様が撮った幕末・明治」新人物往来社、一九九六年、同「江戸情報論」北樹出版、二〇〇〇年、同「幕末写真技術の導人とその環境」平井聖・小沢健志監修「古写真で見える失われた城」世界文化社、二〇〇〇年、白根孝胤「幕末・維新时期における尾張家の撮影写真と技術開発」『徳川林政史研究所研究紀要』第四〇号、二〇〇六年、同「明治初年における徳川慶勝の動向と撮影写真」『同』第四五号、二〇一〇年、また徳川義宗監修・徳川林政史研究所編「写真集 尾張徳川家の幕末維新」吉川弘文館、二〇一四年、白根「歴史手帖 徳川慶勝と明治の写真師」日本歴史学会編『日本歴史』第七八九号、二〇一四年
- (7) 内藤一成「明治二九年小梅邸行幸における明治天皇の写真」『日本歴史』二〇一六年一〇月号
- (8) 調査を行う前に、最初に本稿が対象とする写真群に付した名称である。調査の過程で昭和期の写真が含まれていたことが分かったので、のちに「明治期等古写真」と改称した。本稿では両方を使い分けるが、同じ写真群である。
- (9) 「日本人カメラマンのプロフィール」前掲「日本人カメラマンの見た幕末明治」所収
- (10) 注(9)および岡塚章子「明治期の写真 百花繚乱の時代」前掲「浮世絵から写真へ」所収
- (11) 古写真から歴史的情報を読み取る点に関しては、前掲宮地「将軍・殿様が撮った幕末・明治」、岩下前掲「江戸情報論」を参照

明治期等古写真目録（川島丈尚作成・岩下哲典監修）

| | 名 称 | 法量（寸法） 上段：台紙 下段：本紙 | 年 代 | 写真師・写真館 | 裏面データ | 備考（補足） |
|---|---------------------------|--------------------------|-------------------------------------|--|---|-------------------|
| 1 | 家族写真（夫婦と子供内訳4男1女） | 17.5×22.5 9.5×13.5 | （明治） 四 拾 三 年 十 一 月 三 拾 日 撮 景 | 利根川 | （明治） 四 拾 三 年 十 一 月 三 拾 日 撮 景□。 Tonegawa □□ □□□利根川 | |
| 2 | 女性（手に扇子を持ち下駄を履く。背景に策があり。） | 13×8.5 9×6 | | Artistic PHOTO- GRAPHER | 御陰様で 福米沢杉田茂登 | ゼラチンペーパー |
| 3 | 女性（右手に扇子あり） | 14×9.7 8.6×5.6 | | 東京松村上野 T. matsumura. uyeno. tokyo. | 正木美雪 | |
| 4 | 少年（和服帽子あり） | 12×7.8 9.2×6 | 明 治 三 十 八 年 五 月 廿 日 生 八 才 大 年 | 渡邊寫 東京 神田表神 保町 T. Watanabe | 「長男安久」 「明治三十一年 五月廿日八才 大年」「正木 小学校生写真 や渡辺倅浅草 永住ヨリ生まれ 仍神田へ移 転后寄遣」 | |
| 5 | 女性（髪を結び左手に盆栽あり） | 12×7.8 8.8×5.8 | | 東京浅草公園 福田亮正製 SMFUKUDA | 井原起ん子 正木女学校生徒 | ゼラチンペーパー |
| 6 | 若い女性肖像写真 | 11.8×7.7 8.5×5.8 | | 鶴淵 東京浅草並木街 H. TURUBUCHI. namikicho asakusa tokyo | 横山たか | |
| 7 | 男子学生四人の集合写真 | 12.1×7.8 8.8×5.9 | meiji 37years 3moth 13day | 北條六軒町道 B. Asai 浅井寫真館 | anzai. takahashi kameda and s. kase meiji 37years 3moth 13day kase sadakichi. | 北條（館山市） 北條六軒町道 |
| 8 | 近衛騎兵一統卒 | 10.5×6.5 9.5×6 | | 大日本東京 丸木利陽 R. maruki. | 写真師丸木利陽 東京柴新シ橋 角 国会議事 堂前 近衛騎 兵一等卒 山 内文吉寫 第 三七二百三号 | |

| | | | | | | |
|----|--------------------------|---------------------|--------------------------------|---|---|-----------------------------|
| 9 | 成人男性肖像 写真 | 12.5×7.8 9.2×5.6 | 明治三十五年 一月 元日 | T. ogawa. YOKOHAMA | 恭賀新年 明 治三十五年一 月 元日 加藤 直之 藤田正 忠殿 | |
| 10 | 和服少女二名 (左は姉、右は 妹) | 11.9×7.8 9.2×6.3 | | 小野製 羽前新庄 K. ONO shinjo, uzen. | 十四 ッカ文子 十五 テツ子 | |
| 11 | 和服少女(右 手に花、靴は ブーツ) | 13.3×8.8 8.8×5.6 | 明治四十年長月 | 浅草公園 watanabe 渡邊 | 明 治 四 十 年 十一月天長節 に之ヲ写ス 山尾ゆき子 photogapher w a t a n a b e asakusa park tokyo 明 治 四 拾 年 十 一 月 八 日の印あり | |
| 12 | 成人男性肖像 写真 | 10.3×6.3 8.8×5.7 | | 写真師佐々木 川越久保町 前橋横山町 | 大日本帝国 赤羽仙茂 S. AKAHANE | |
| 13 | 姉妹と男の子 一人 | 11.9×7.7 9.4×6.3 | | 東京浅草公園 福田亮正製 SMFukuda | 明 治 三 十 九 年 四月 東京浅草 ニテ撮影 渡邊 功 當七 歳 明 治 三 十 三 年 七 月 生 正 木 美 智 子 當 五 歳 明 治 三 十 五 年 四月 生 正 木 美 雪 當 十 歳 明 治 三 十 年 一 月 生 | |
| 14 | 青年肖像写真 | 10.5×6.6 9×6.2 | 三十二年一月 撮影 | T. matumura FRONT STATION UENO TOKIO | 三十二年一月 撮影 三浦音助 明治十年一月 生 勉強堂 松村東洋製大 日本東京上野 停車場前 | |
| 15 | 少年肖像写真 | 10.8×6.5 9.4×6.3 | 明治三十年七 月日 後ろにさらに 文字あり | T. TERUI. 照井謹寫 | 明治卅年七月 小山田 照 井泰四郎 謹 寫 山形市羽 前山形七日町 □□ | 表面に名前の ようなものあり (大内九朗) |

| | | | | | | |
|----|-----------------|---------------------|--|---|--|--------|
| 16 | 少年二名と赤ん坊 | 10.7×6.6 9.3×6.3 | 明治廿七ニテ 八月写 | 甲府市 紅梅町 寫真師廣瀬製 | 明治廿七ニテ八 月写 省三 習二 井一 生後百廿日 | |
| 17 | 赤ん坊 (女子) | 13.1×8.8 8.7×5.4 | 四十四年十二 月十日寫 | 陸中盛岡 タカハシ | 四十四年十二 月十日寫 軻音 441221印あり | トレファン紙 |
| 18 | 青年教師 | 13×8.5 8.8×6.1 | 明治四十一年 四月 | T. MIYAUCHI. otsuka. koishikawa-ku. tokyo 宮内寫真館 | 石伏の目黒君 明治四十一年四 月 高師卒業上 四國に赴任セ ラル 宮内寫真 館 東京市小石 川区 大塚陸軍 彈藥庫前 | |
| 19 | 赤ん坊 (女子) | 14.5×9.9 11×7.7 | No36, 6, 1. | k. Okawa misakicho kanda TOKYO JAPAN | 新長女 渡辺 み与 東京市神田区 三崎町三丁目 大川 孝 謹 寫 ko. Okawa. photographic artist 3CHOME Misakicho KANDA TOKYO no36,6,1. BASE peper made at koyodo&co | |
| 20 | 青年教師 | 10.5×6.3 9.5×6.2 | 明治貳拾六年 參月写之 (明 治26年3月寫之 ともあり) | 仲之町早取寫 真師 加藤 | 263 明治貳拾 六年參月 写之 鈴木昌玄眞影 | |
| 21 | 青年軍人 (防 寒服用) | 12.1×7.8 9.1×6.3 | 明治三十七年 二月十二日遠 征ノ途ニ上ル 日ニ先ヅル ヲ八日 | PHOTOGRAPHER | 明治三十七年二 月十二日遠征ノ 途ニ上ル日ニ先 ヅル事八日 阿久津 旭 防 寒用外套ヲ着セ ル装 三十九 年四月金鷄勲章 功七級□□□□ | |

| | | | | | | |
|----|--|-----------------------|-------------------|-------------------------------|---|--|
| 22 | 羽織和服女性 | 12.4×8 9×6.2 | | 通町仲谷下東京 徳力製 T. tokuriki | 正木みね 育 英小学同僚 須 藤とく子 東 京池の端仲町通 本郷湯島天神町 三丁目 寫真 師 徳力製 T. TOKURIKI YUSHIMA TENJINCHO HONGOKU, TOKYO | 須藤とく子の 可能性あり |
| 23 | 老年女性 | 10.9×6.5 8.9×5.8 | | PHOTOGRAPHER ARTISTIC | 山形 | |
| 24 | 和服女性（右 に椅子あり） | 11.7×7.8 9.3×6.2 | | ARTISTIC PHOTOGRAPHER | 田島町 | |
| 25 | 和装女性二人 写真（中央花 あり） | 13×8.6 9.2×6.2 | 明治四拾二年 七月廿一日 | ARTISTIC PHOTOGRAPHER | 明治四拾二年七 月廿一日 小西 はる 秋元はる | |
| 26 | 少年軍人（台 に手を添える） | 12×8 8.8×6.1 | 明治三拾六年 一月四日寫 | Y. TSUKAMOTO 塚本楊東 | 明治三拾六年一 月四日寫大類昌 藏 東京市麴町 区富士見町老丁 目廿九番地 塚本楊東製 支店市川根元世 田ヶ谷電話番町 七百四拾三番 Y. TUKAMOTO fujimicho ichome tokio | |
| 27 | 家族写真（男 性二名女性二 名）男性1人和 服1人洋装 女性和服 | 18.8×13.1 14.3×10 | 明治三十七年十 月廿一日写之 | S. Ouchi 大内謹寫 東京本郷区田町 | 明治三十七年十 月廿一日写之 | |
| 28 | 子供集合写真 （男子一名女子 五名） | 14.7×18 9.7×13.8 | | ryusuikan 柳水館 東京柳橋角 | | |
| 29 | 騎兵軍人乗馬 写真 | 17.5×11.6 10.1×7.3 | | M. shiose 東京小石川 潮瀬謹寫 | 野口吉松様 | 騎兵第十三連 隊（騎兵第1旅 団）に所属す る可能性あり 襟章に「13」 あり |

| | | | | | | |
|----|-----------------|------------------------|-----------------|--|--|--|
| 30 | 集合写真（男子四名女子六名）も | 17.2×11.4 13.8×9.4 | 明治三十三年 極月撮影 | babuchi 東京浅草公園 六区 馬淵製 | 明治三十三年極 月撮影 前列 村木儀三 郎 鈴木じう 鎌田（小供）鈴 木あい子 正 木みね（小供） 正木美雪 鈴木 善七 後列 川島ツル 浅田せん 鈴 木はな | |
| 31 | 男性六人写真 | 16.4×10.7 14.1×10.5 | 明治廿八年以降 | Fujita 北越長岡藤田 NAGAOKA. HOKUYETSU. | 褒賞 第四回内 國勸業博覧会 萬世不變色身軀 寫真 北越長岡 藤田房之 Fotografer fujita nagaoka hokuetsu nippon | 右下の男性顔 が消される |
| 32 | 成人男性集合 写真 | 16.8×11.4 10.9×7.1 | 大正三年拾壹 月貳拾五日 | nankeikaku odomari kabafuto楠溪閣 | 大正三年拾壹月 貳拾五日於而大 泊写ス向右 鈴 木栄吉 四十七 才 左 鈴木玉 造 二十五才 中鈴木栄 二十 才 | 南カラフト大 泊にて撮影札 幌中央図書館 デジタルライ ブラリーにて 大泊の写真が upされている。 |
| 33 | 日光石鳥居 | 9.7×6 8.3×5.7 | | | 日光 石鳥居 二十三枚之内 | 「大類」朱文丸 印あり |
| 34 | 飛越獅子 | 9.7×6 8.8×5.4 | | | 日光東 飛越獅子 二十三枚之内 | 「大類」朱文丸 印あり |
| 35 | 日光三代公奥 | 9.7×6 8.4×5.5 | | | 日光 三代公奥 二十三枚之内 | 大猷院廟 「大類」朱文丸 印あり |
| 36 | 表門 | 9.7×6 8.3×5.5 | | | 日光東 表門 二十三枚之内 | 「大類」朱文丸 印あり |
| 37 | 霧降の滝 | 9.7×6 8.3×5.4 | | | 日光 霧降 二十三枚之内 | 現：霧降の滝 「大類」朱文丸 印あり |

| | | | | | | |
|----|------------------------------------|----------------------|-----------------|--|-------------------------------------|--------------------------|
| 38 | 家族写真（椅子に座る女性二人、その後ろで立ちながら男性が傘をさす） | 10.5×6.9 9.6 ×5.9 | | | 日本 名古屋 長者街進 | |
| 39 | 裏見の滝 | 10.5×6.3 9.2×5.5 | | | 日光 裏見 二十三枚之内 | 「大類」朱文丸 印あり |
| 40 | 手水舎 | 10.5×6.3 8.6×5.6 | | | 二十三枚之内 日光東 手水舎 | 「大類」朱文丸 印あり |
| 41 | 大佛堂 | 10.6×6 8.5×5.5 | | | | 東大寺大仏殿 「大佛堂」の貼 紙あり |
| 42 | 椅子に座る男 見写真 | 10.6×6 8.8×5.8 | (明治) 廿五年 九月 | | (明治) 廿五年 九月 省三 満三年 | |
| 43 | 門扉の前に立 つ男児二人 | 10.6×6 9×6.3 | (明治) 廿七年 一月寫 | | (明治) 廿七年 一月寫 | |
| 44 | 大猷院廟手水 舎 | 10.5×6.3 8.6×5.5 | | | 日光 三代公手 水舎 二十三枚 之内 | 「大類」朱文丸 印あり |
| 45 | 女性上半身（手 に団扇） | 10.5×6.3 8.4×5.4 | | | 品水ノ夕柴 | |
| 46 | 舟形橋 | 10.5×6.3 9.2×5.7 | | | 舟形橋之景 | |
| 47 | 日光東照宮本 社及び唐門 | 9.8×6 8.6×5.5 | | | 日光 東照宮本社 二十三枚之内 | 「大類」朱文丸 印あり |
| 48 | 椅子に座る老 年男性（左の 台に花の入っ た花瓶） | 9.8×6.2 9.2×6 | | | 井上園 左衛門 七十一年七月 の寫真 | |
| 49 | 椅子に座る男児 | 10.9×6.4 9×5.8 | (明治) 廿五年 九月 | | (明治) 廿五年 九月習二 壱年十ヶ月 | |
| 50 | 常磐公園梅林 | 10.5×6.3 9.2×6.1 | | | 本邦三大公園 之一常州水戸 市常磐公園梅 花満開之景 | |

| | | | | | | |
|----|--------------------------|-----------------------|-----------|--|--|-------------------|
| 51 | 親子写真（泰助、椅子に座る惣左衛門の傍らに立つ） | 10.6×6.4 9×5.9 | 明治廿三年四月吉日 | | 泰助 十九歳 惣左衛門 五十九歳 明治廿三年四月吉日 | |
| 52 | 三人の椅子婦人写真 | 10.2×6 8.7×5.6 | | | 西京ぎょうん町 君江きゆ、おあい | 着色写真 |
| 53 | 華巖の滝 | 16.5×10.5 14.4×9.4 | | | 花ごん | |
| 54 | 五重塔（日光東照宮） | 16.5×10.5 14.4×9.4 | | | 五重塔(日光山) | 写真下部にアルファベットの文字あり |
| 55 | 上神庫 | 16.5×10.5 14.4×9.4 | | | 上神庫 | |
| 56 | 大猷院廟内部 | 16.5×10.5 14.4×9.4 | | | 三代内部 | |
| 57 | 大猷院廟二天門 | 16.5×10.5 14.4×9.4 | | | 三代二天門 | |
| 58 | 大猷院廟唐門 | 16.5×10.5 14.4×9.4 | | | 三代唐門 | |
| 59 | 中禅寺湖と中宮寺 | 16.5×10.5 14.4×9.4 | | | 中宮祠 | |
| 60 | 東照宮表門 | 16.5×10.5 14.4×9.4 | | | 東照宮表門 | |
| 61 | 陽明門 | 16.5×10.5 14.4×9.4 | | | 陽明門 | |
| 62 | 東照宮奥社 | 16.5×10.5 14.4×9.4 | | | 東照宮奥社 | |
| 63 | 眠り猫 | 16.5×10.5 14.4×9.4 | | | 眠り猫 | |
| 64 | 裏見の滝 | 16.5×10.5 14.4×9.4 | | | うらみた起 | |
| 65 | 家族写真（夫婦と子供一男五女） | 16.5×10.9 14.4×9.7 | 明治三十年六月五日 | | 明治三十年六月五日群馬縣前橋市第四号官舎ニ於て 三女トラ 二女エウ 渡邊順親 次男剛妻ヨシ 五女マサ 長女フジ 四女キヨ | |

| | | | | | | |
|----|-----------------------------|------------------------|-------|--|--|----------------|
| 66 | 墓所に向かう人々 | 10.7×15.3 10×14.4 | 昭和四年春 | | 高山林太郎 仁田た以 昭和四年春 塚本歌子 仙台青葉城跡より 政宗公墓所に至る途中 | |
| 67 | 和装の中年女性の傍らに座る和装の若い女性が立つ写真 | 12.9×8.3 10.5×7.4 | | takebayashi ichibanncho kojimachiku TOKYO | studio photographer T. takebayashi 武林寫真館 北海道札幌出張 東京麹町区一番町 電話番町三拾七番50484 (写真番号) THIS BASE PAPER IS MADE BY KOYODO | |
| 68 | 18人女学生と1人の中年男性の集合写真 | 18.2×12.4 13.7×9.4 | | PHOTOGRAPHER JAPAN ARTIST | | 写真師の名前はK・GかG・K |
| 69 | 名古屋一中生と中年男性と軍人集合写真 | 13.4×16.5 10.4×14.3 | | 名古屋市浪越公園 中村透撮影 T. nakamura NAGOYA | | 名古屋一中生 |
| 70 | 女頭巾を被る芸者（プロマイド写真） | 9.7×6.2 8.7×5.5 | | 浪花川付守安玉尾 | | 「大類」朱文丸印あり |
| 71 | 姉妹写真 | 12.2×7.8 11.2×7.8 | | 東京浅草公園 江寄製 | REIJI YESAKI, INSTANTANEOUS PHOTOGRAPHER ASAKUSA_PARK TOKYO, JAPAN. 大日本東京浅草公園地早取 寫真師 江崎禮二製 | |
| 72 | 青年写真（右手に帽子、左手を台に添える台上に花瓶あり） | 10.8×6.5 9.4×6.3 | | T. TERUL YAMAGATA UZEN JAPAN | 寫真師照井泰四郎 羽前山形七日町 PHOTOGRAPHER T. TERUL nanokamachi, yamagata, uzen. | |

| | | | | | | |
|----|--------------------------|----------------------|--------------|---|---|----------------------------|
| 73 | 和装の女性2人の写真(1人は立ち、1人は座る) | 13.3×9.1 9×5.9 | | NAGOYA ⑧ JAPAN 名古屋 中央写真館 K. SAKAI | | |
| 74 | 水兵服装の少年写真 | 10.8×6.5 9×5.9 | | 青山三郎 NAGOYA-KOYEN S. AOYAMA 愛知名古屋公園 | | |
| 75 | 襟巻とリボンを着けた和装の少女写真 | 14.6×8.6 | | 名古屋下常盤町 岩田虎雄 T. iwata TOKIWACHO NAGOYA AICHI | | |
| 76 | 和装の少女女性 | 11.8×7.8 8.7×6.2 | | 浅草御蔵前 寫真師松本製 | | |
| 77 | 和装の少年写真 | 12.1×7.9 8.8×5.9 | | photographer made in japan | | 葉の形の中に 写真を焼き付 けているもの |
| 78 | 和装で書物を手に立つ少女の写真 | 12.4×7.9 10.8×7.7 | 明治三十一年 五月 | mabuchi 東京浅草公園 六区馬淵製 | 明治三十一年五月 写 山田つる 八歳一ヶ月 正 木小学生徒 | |
| 79 | 和服婦人写真 | 10.8×6.6 9.3×6.3 | | K. masuhara. 東京赤坂溜池 増原製 | | トレファン紙 有り |
| 80 | 和装で座る女性 | 6.2×10.5 5.3×8.1 | | 東京綿華堂 松村寫真廬 | 麹町区飯田町 老丁目九段勸 業場内 | |
| 81 | 和装の母親と男児の写真 | 6.4×10.6 6×9.4 | | S. AOYAMA 青山名古屋大 須公園 | Photographer AOYAMA NAGOYA JAPAN 名古屋公園 青山三郎 横井製 | |
| 82 | 和装の母と男児の写真(立つ母親男子は椅子に座る) | 6.4×10.6 6×9.4 | | S. AOYAMA 青山名古屋大 須公園 | Photographer AOYAMA NAGOYA JAPAN 名古屋公園 青山三郎 横井製 | |

| | | | | | | |
|----|-----------------------------|----------------------|-------|------------------------------|--|--|
| 83 | 和装の女子と和装の男子の子供写真（男子の子椅子に座る） | 6.4×11.5 5.9×9 | | S. Morikane 兩國廣水路 森金謹寫 | | |
| 84 | 和装の三人の写真 | 7.8×12 7.2×8.9 | | S. Morikane 兩國廣水路 森金謹寫 | | |
| 85 | 山形縣尋常中學校 | 16.1×10.3 14.5×10 | 明治三十年 | 寫真師照井泰四郎 | 山形縣尋常中學校寫真師照井泰四郎羽前山形七日町明治三十年 | |
| 86 | 高德院 （鎌倉大仏） | 10.4×16.2 9.9×14 | 明治廿八年 | | 鎌倉大佛 造立發願主源頼朝公建長四年上總國大野五郎右衛門鑄造之則距明治廿八年六百四十年也○佛身總青銅高五丈○周圍十六間二尺○面長八尺五寸横壹丈八尺○白毫周壹尺三寸○眼長四尺○眉長六尺六寸○鼻長三尺八寸○口廣三尺二寸五分○肉髮高八寸經二尺四寸○螺髮高八寸經壹尺其數八百三十顆○膝經六間○佛手大指周三尺餘○右白毫白銀其量三貫六百目○眼晴精金也 東國總國分寺旧跡 清淨泉寺高德院 | |
| 87 | 和装の成人男性集合写真（二人が立ち二人が座る） | 8.3×13.9 7.6×11.6 | | 寫真師照井泰四郎 羽前山形七日町 | 寫真師照井泰四郎 羽前山形七日町 ptographer T. TERUI nanokamachi yamagata, uzen | |

| | | | | | | |
|----|---|---------------------|----------------|----------------|---|---------------------------|
| 88 | 和装の女性 | 10×16 5.6×8.9 | | 谷崎寫真館 東京中渋谷 | | |
| 89 | 和装の女性二人の 写真（一人は立ち1人は 座る） | 6.4×9.6 5.9×9 | | 田村鐵三郎 | 金子宗内 室井 奥様 田村鐵三 郎 福島縣福島 町公園 T. tamura. ptographer koyenchi fukushima-chio fukushima ken JAPAN | |
| 90 | 天満宮内殿 | 6.4×11.5 5.8×9 | 明治廿八年二 月十五日 | 小柴垣 | 明治廿八年二 月十五日登録 photographer HIRANO MONZEN RAKUHOKU KIOTO TANAKA 京都洛北平野門 前撮影師小柴垣 田中謹寫（川 本製） | 写真裏に各印 あり |
| 91 | 夫婦写真（右 の台の上に植 木あり） | 6.2×10.4 5.5×8.8 | | | | |
| 92 | 和装姿でほう きを持って立 つ女性 | 6.2×10.4 5.5×8.8 | | | | 「大類」朱文丸 印あり |
| 93 | 和装の女性二 人の写真（一 人は座り、一 人は傘を持っ て立つ、中央 に松あり） | 6.4×10.5 5.8×9.2 | | | | |
| 94 | 滝修行（集団 で滝壺下にて） | 7.3×10.7 5.6×9.1 | | | | |
| 95 | 播磨舞子濱 | 6.4×10.4 5.5×9.1 | | | | 「播磨舞子濱」 の碑が写って いる。 |
| 96 | 鉄橋とたもと の民家 | 6.3×10.5 5.6×8.4 | | | | 鉄橋の下に三 人が乗った和 舟が浮かぶ |

| | | | | | | |
|-----|--------------------------------|------------------------|--|--|--|----------------------------------|
| 97 | 和式木造橋 | 6.2×10 5.4×8.6 | | | | |
| 98 | 巖島神社 | 6.2×10 5.5×8.7 | | | | 「藤田」朱文丸印あり |
| 99 | 棚田と川と街道 | 6.6×9.9 5.2×8 | | | | |
| 100 | 和装で椅子に座った女性 | 6.1×9.9 5.6×8.8 | | | | |
| 101 | 座る男（羽織を脱いだ状態） | 6.4×10.4 5.9×9.2 | | | | 盆栽の飾りあり |
| 102 | 座る男（羽織を着用した状態で仏像を持つ） | 6.3×10.1 5.9×9.2 | | | | 盆栽の飾りなし前の写真と同一人物の可能性あり |
| 103 | 老年の椅子に座った男性（右手に扇子を持つ） | 6.2×10.4 5.5×8.6 | | | | 丸窓写真 |
| 104 | 親子写真（女子は団扇を持ち母は扇子を持つ台の上に獅子） | 6×10 5.8×8.9 | | | | |
| 105 | 和装の椅子に座った女性四人の集合写真 | 6.2×10.4 5.9×9.4 | | | | 裏に和装の椅子に座った男性三人写真が貼られている（家族の可能性） |
| 106 | 駕籠の屋根の上で座る女性と駕籠の中からあっかんべえをする男性 | 6.2×10.4 5.9×9 | | | | |
| 107 | 和装の成人男性八人の集合写真 | 10.5×16.4 10.1×14.1 | | | | |
| 108 | 梅林 | 10.5×16.4 9.9×14 | | | | |
| 109 | 茅葺の家 | 10.5×16.4 9.9×14 | | | | 人力車が写る |
| 110 | 崖をめぐる道の風景 | 10.5×16.4 10×14.7 | | | | |
| 111 | 古民家と梅の木 | 10.5×16.4 9.9×14.1 | | | | |

| | | | | | | |
|-----|-------------------------|------------------------|--|--|--|--|
| 112 | 崖 | 10.5×16.4 10.2×14.7 | | | | |
| 113 | 神社 | 6.6×5.3 5.7×4.3 | | | | |
| 114 | 運河沿いの民家 | 6.6×5.3 5.7×4.3 | | | | |
| 115 | 滝修行 | 6.4×10.5 5.5×8.9 | | | | |
| 116 | 室内から庭の 女性を撮影 | 9.4×13.7 8.1×11 | | | | |
| 117 | 清国の商品陳列 | 16.9×22.1 9.6×13.5 | | 清国上海市場需 要品 参考品 愛知縣商品陳列 館出品 清国上 海廣東市場需 要品莫大小 輸出 希望者ハ本館外 國係へ申出ラレ タク詳細説明致 シマス 清国 廣東市場 需 要 品 | | |
| 118 | 男性集合十四 人の写真 | 6.2×10 5.4×8.6 | | | | |
| 119 | 和装姿でほう きを持って立 つ女性 | 5.9×9.9 5.3×9 | | | | |
| 120 | 洋装明治天皇 肖像 | 6.2×10.6 5.4×8.8 | | | | |